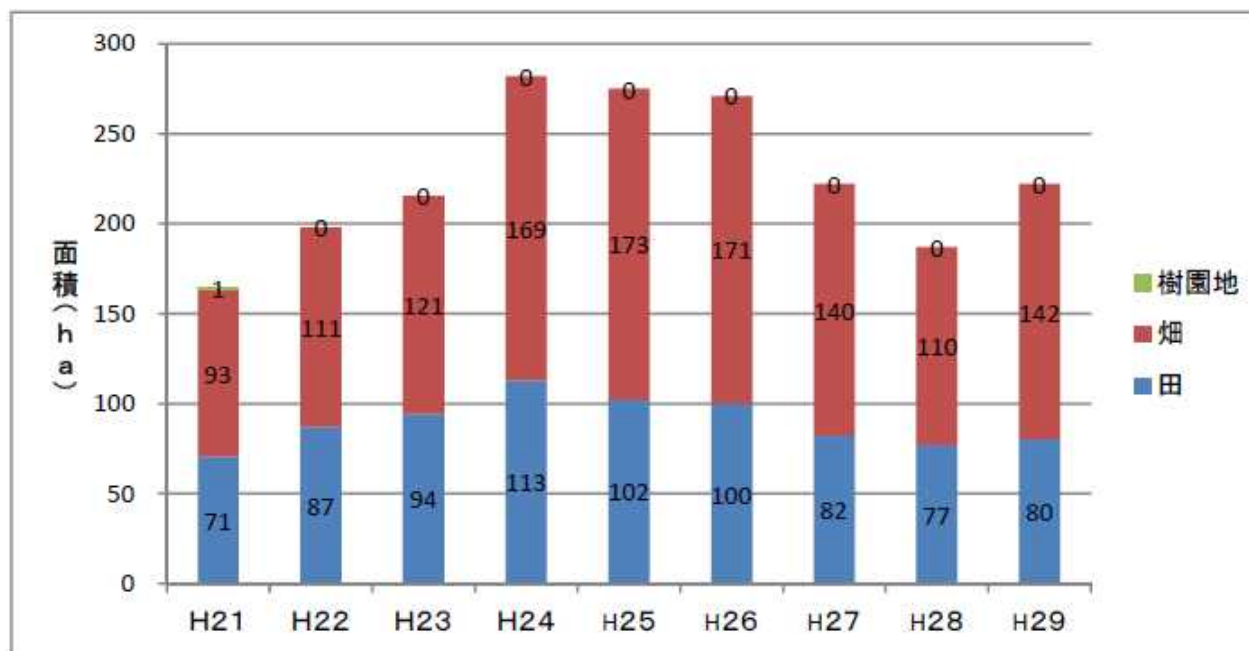


1 7 荒廃農地の状況

再生利用が可能な荒廃農地（A分類）の面積は平成24年度まで増加の傾向にあったものの、平成25年度から減少に転じ、平成28年度には187haまでに減り、平成22年度のレベルにまで解消した。しかしながら、平成29年度には畑地の面積が再び大きく増加している。

荒廃農地に占める畑地の割合は6割程度であり、この傾向に大きな変化はない。

◇中部農林局管内における再生利用が可能な荒廃農地面積の推移



□資料：荒廃農地の発生・解消状況に関する調査